

# 1. はじめに

---

## 1-1. 計画策定の背景と目的

本町では、小湊鉄道（株）により JR 上総一ノ宮駅から大多喜車庫を結ぶ路線、一宮海岸から JR 茂原駅を結ぶバス路線が運行され、本町と周辺の市町村を連絡するとともに、JR 上総一ノ宮駅を拠点に町の周辺部を結ぶ住民の生活の足としての役割を果たしていた。

しかしながら、路線バスは、自家用車の普及とともに、利用者は減少し、減便等による利便性の低下により、さらに利用低迷に拍車を掛けている状況にある。

こうしたなか、本町では平成 14 年に巡回バスの運行について検討し、アンケート調査の結果より、高齢者や身体の不自由な方に特化した、町内医療機関への無償運送サービス『にこにこサービス』を始め、現在に至っている。しかしながら、今後さらに進む高齢化社会を想定すると、住民の日常生活に資する交通手段は十分に確保されているとは言えない。

本計画は、上記の背景を踏まえ、「一宮町全域」を計画対象区域として、町民や交通事業者とともに、地域にとって持続可能な公共交通体系の構築を目指すものである。

## 1-2. 本計画の位置づけ

本町は、平成4年に「一宮町総合計画（平成23年度を目標）」を策定しており、この実施計画である「一宮町実施計画【第6次】（平成19年度～平成21年度）」に基づき、施策を展開している。

本計画は、「第6次実施計画」を上位計画とし、整合を図りつつ具体的に施策を展開していくための実行計画として位置づける。

### 町づくりのテーマ

住……時代にふさわしい居住環境のために  
遊……ゆとりに満ちた暮らしのために  
産……活力ある産業の育成のために  
知……豊かな心を育むために

### 施策別スローガン

都市基盤	機能性の高い調和のとれた町づくり
福祉・保険・医療	健やかで明るい生きがいのある町づくり
産業振興	活力に満ちた潤いのある町づくり
生活環境	安心して暮らせる快適な町づくり
教育文化	創造性を育む心豊かな町づくり
地域社会と行財政	温かいふれあいのある町づくり

公共交通・交通施設

#### （1）公共交通の充実

- ・快速列車の増便、踏み切りの遮断時間の短縮、東口改札の設置等の施設整備を要望していきます。
- ・路線バスの運行存続について協議していきます。

#### （2）交通施設の整備

- ・上総一ノ宮駅舎橋上化の検討をしていきます。
- ・駅のバリアフリー化の推進をしていきます。